



守山駅前に子育て支援拠点がオープン! こどもの居場所づくりも積極的に進めます

11月28日(金)、現在建設中のフレンドタウン守山(旧平和堂守山店)の2階に、『気軽に立ち寄り『交流・相談・息抜き・学べる』子育て広場』をテーマに、子育て支援拠点施設がオープンします(詳細は4頁)!

買い物のついでに小さいお子さんを自由に遊ばせたり、親同士の交流ができるのはもちろん、一時預かりや気軽に専門家に子育て相談ができたり、子育てに役立つさまざまな講座も開催します。

また、守山で活動する子育てサークルは無料で多目的室・多目的スペースを活動にご利用いただけるほか、さまざまな子育てイベントなどの情報を集約・発信し、「ここに来れば子育て関係の情報がすべてわかる」という場所を目指します。

公募により愛称が「mamocco」に決定しました。ぜひ皆さん、「mamocco」にお越しください!また、駅前の「mamocco」、中部の「ほほえみセンター」のほか、北部においても既存幼稚園を活用した子育て支援拠点施設



「mamocco」の壁面の絵を京都芸術大学の学生にデザインしていただきました

の開設を検討中です。

一方、積極的に「こどもの居場所」づくりをさまざまな場所で検討中です。

例えば、学校は子どもたちにとって、一番慣れ親しんだ安全な場所です。そのため、小学校の施設を活用し、放課後に子どもたちが多様な体験活動を行ったり、自分のやりたい活動を自由に選んで過ごせる「居場所」となるよう、まずは、玉津・中洲小学校で、放課後の居場所づくりの検討を進めています。

また、土・日曜日、祝日と季節休みの貸館のない日には、図書館の集会室を学習などに自由に使用できるよう開放するほか、なるべく多くの人に利用いただけるよう図書館の学習コーナーを午前・午後の入替2部制としました。加えて、市役所1階の机と椅子は自由に学習などに使ってもらっています。

さらに、現在検討中の市民ホール大規模改修においても、Wi-Fiや電源などを整備し、ロビーや2階などで、飲食しながら自由にくつろげるようにすることで、公演などの用がなくても来くなる「居場所」となるよう議論を進めています。

このように、市内のさまざまな場所で、既存ストックを有効に活用しつつ、「こどもの居場所」づくりを積極的に進めていきたいと考えています。

令和7年度 市政功労者の表彰

11月3日(月・祝)午前10時30分から、市民ホール 小ホールで、令和7年度市政功労者表彰式典を開催し、地方自治や文化・芸術振興、スポーツ振興、奇行な行為などに尽くされた人などを表彰します。今年度受賞されるのは、自治功労8人、社会功労20人3団体、計28人3団体です。

(敬称略、順不同)

問総務課 ☎・有(582)1111 FAX(582)0539

自治功労

★消防団員として15年以上精勤された。

今井 貴善 香川 智文

川島 忠浩 木下 貴昭

西川 孝司

★スポーツ推進委員として15年以上在任された。

大橋 康彦 北村 重史

★行政事務嘱託員として10年以上在任された。

竹村 祐輔

社会功労

★2025 第43回 津軽三味線世界大会 個人A級でチャンピオンになられ、市民に夢と希望を与えるなど、本市の文化・芸術振興に大きく寄与された。

多田 智大

★大山名人杯争奪 第24回 全国小学生 倉敷王将戦 高学年の部で準優勝され、本市の文化・芸術振興に大きく寄与された。

北川 友悠